

(4) 経済生活

ア 生活の収入源 (Q21a)

「現在の生活費を何でまかなっているか」収入源をすべてあげてもらったところ、韓国を除く4か国では、「公的な年金」の割合が8割強と最も高い。韓国では、「子どもなどからの援助」の割合が59.4%で最も高い。

時系列でみると、各国とも「公的な年金」が増える傾向にある。また、日本と韓国では、「子どもなどからの援助」が減る傾向がみられる。

(表27)

(複数回答) (%)

	日 本					ア メ リ カ					韓 国				ド イ ツ			スウェーデン
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第3回	第4回	第5回	第3回	第4回	第5回	第5回
1 仕事による収入	41.0	34.3	34.1	35.0	33.4	27.3	24.0	21.6	25.6	25.5	21.8	37.4	32.4	34.2	7.1	6.5	9.7	14.9
2 公的な年金	64.6	77.0	81.2	84.0	84.9	82.1	84.7	84.5	83.0	85.4	1.7	3.4	4.3	9.5	82.6	84.4	83.5	85.5
3 私的な年金	8.4	5.4	7.8	7.5	11.1	27.1	29.7	33.4	33.0	39.0	0.0	0.5	0.5	1.2	26.2	23.9	22.7	14.8
4 預貯金などの引き出し	11.4	16.6	22.7	21.4	22.1	22.0	24.0	24.0	23.7	25.6	3.5	6.0	11.0	21.7	14.4	20.7	36.2	26.1
5 財産からの収入	15.6	14.5	13.9	11.4	8.2	45.1	49.4	43.1	34.3	32.6	5.5	8.4	10.2	10.1	10.9	11.8	15.2	4.8
6 子どもなどからの援助	29.8	21.8	18.9	15.4	12.0	2.4	2.2	2.6	3.0	2.7	78.2	73.6	70.8	59.4	3.6	2.9	3.8	0.4
7 生活保護	1.7	1.4	1.4	0.7	1.0	3.3	3.2	3.0	1.9	1.9	2.0	3.2	5.0	6.1	1.3	1.1	3.6	38.5
8 その他	4.8	4.0	3.2	3.8	3.2	8.2	6.0	8.0	7.0	6.6	3.6	2.2	0.5	2.5	6.3	4.2	5.0	3.7

イ 生活の主な収入源 (Q21b)

「現在の生活費を何でまかなっているか」主な収入源をあげてもらったところ、韓国を除く4か国で「公的な年金」(日本67.5%、アメリカ56.6%、ドイツ75.8%、スウェーデン80.1%)の割合が最も高く、韓国では「子どもなどからの援助」(43.2%)の割合が最も高い。

時系列でみると、日本では「公的な年金」の割合が増え、「仕事による収入」の割合が減る傾向にあり、韓国では「子どもなどからの援助」の割合が減り、「仕事による収入」、「預貯金などの引き出し」などの割合がやや増えている。

(表28)

(%)

	日 本					ア メ リ カ					韓 国				ド イ ツ			スウェーデン
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第3回	第4回	第5回	第3回	第4回	第5回	第5回
1 仕事による収入	31.3	24.5	23.8	21.6	20.8	15.2	14.1	10.7	15.5	13.9	16.2	31.9	26.6	28.1	5.3	4.6	7.1	11.8
2 公的な年金	34.9	53.4	54.3	57.1	67.5	53.9	53.0	55.2	55.5	56.6	0.8	2.5	2.9	5.9	76.6	77.0	75.8	80.1
3 私的な年金	3.8	1.9	1.9	1.7	1.6	10.0	10.4	13.6	13.3	16.4	0.0	0.3	0.5	0.6	10.9	10.1	9.1	1.9
4 預貯金などの引き出し	2.1	2.2	2.0	2.4	1.6	1.7	1.8	1.8	1.5	0.9	2.2	1.9	4.9	9.6	0.6	1.6	1.3	0.6
5 財産からの収入	5.3	5.6	4.0	2.5	2.3	14.5	17.4	11.0	8.5	7.0	3.3	4.6	4.5	5.6	1.4	2.0	1.9	0.2
6 子どもなどからの援助	15.6	9.0	5.7	4.2	3.4	0.3	0.2	0.7	0.0	0.1	72.4	54.8	56.3	43.2	0.6	0.2	0.2	0.0
7 生活保護	1.2	1.1	0.9	0.3	0.9	0.7	0.4	1.4	0.3	0.5	1.2	2.2	3.7	5.0	0.3	0.6	1.5	2.9
8 その他	3.1	1.9	1.8	2.4	1.7	3.5	2.4	2.7	1.6	3.1	3.2	1.6	0.3	2.2	2.6	1.7	3.1	2.2

ウ 日々の暮らしに困ることがあるか (Q22)

「経済的に日々の暮らしに困ることがあるか」についてみると、「困っている」の割合は韓国(23.0%)で高い。

「困っている」と「少し困っている」を合わせた割合をみると、韓国が61.6%で最も高く、次いで、アメリカ(31.5%)とスウェーデン(27.0%)がそれぞれ3割となり、日本は23.6%、ドイツは19.4%と低い。

(表29)

(%)

	日 本					ア メ リ カ					韓 国				ド イ ツ			スウェーデン
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第3回	第4回	第5回	第3回	第4回	第5回	第5回
1 困っている	3.5	4.0	3.4	3.8	6.0	9.9	4.8	3.9	4.5	6.7	36.3	28.0	15.8	23.0	1.5	1.8	3.2	4.9
2 少し困っている	10.2	11.8	15.6	15.9	17.6	18.4	13.0	16.3	24.8	24.8	25.5	31.7	32.8	38.6	5.7	6.3	16.2	22.1
3 あまり困っていない	26.0	31.0	41.8	38.5	38.0	23.8	21.1	23.9	25.7	27.9	30.4	33.7	44.1	31.8	24.8	28.2	46.6	44.6
4 困っていない	59.1	52.7	38.4	41.5	38.3	47.3	60.6	55.1	44.3	39.7	7.4	6.5	7.1	6.6	67.9	63.0	34.1	28.5

エ 老後の生活費に対する考え方 (Q23)

「老後の生活費について、どのように考えるか」についてみると、ドイツとスウェーデンでは、「社会保障などでまかなわれるべき」(ドイツ57.2%、スウェーデン57.3%)という社会保障型が最も高い割合となっている。

一方、アメリカ及び韓国では、「働けるうちに準備し、家族や公的な援助には頼らないようにすべき」(アメリカ50.8%、韓国46.3%)という自立型が最も高い割合となっている。

日本では、社会保障型(46.3%)が自立型(42.6%)とほぼ同率である。

時系列でみると、日本及びアメリカでは、自立型が減っており、社会保障型が増えている。韓国では、社会保障型が増えており、「家族が面倒をみるべき」という家族依存型が減っている。

(表30)

(%)

	日 本					ア メ リ カ					韓 国				ド イ ツ			スウェーデン
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第3回	第4回	第5回	第3回	第4回	第5回	第5回
1 他に頼らない	55.0	52.4	44.0	46.6	42.6	60.7	65.2	59.1	62.1	50.8	40.3	43.2	41.9	46.3	45.2	32.2	39.6	37.6
2 家族が面倒をみるべき	18.8	15.0	16.0	12.8	7.9	0.6	0.7	0.6	0.8	4.9	49.4	38.2	28.2	19.5	6.0	3.8	1.7	1.8
3 社会保障などでまかなわれるべき	21.8	30.2	37.5	37.7	46.3	29.1	25.3	26.5	25.7	37.8	8.2	17.6	29.2	32.7	45.6	59.3	57.2	57.3
4 その他	2.5	2.2	1.3	2.3	2.6	6.0	6.0	9.1	5.8	1.3	1.1	0.6	0.0	0.6	3.0	4.3	1.5	3.3

オ 老後の生活費に対する備え (Q24)

「老後の経済生活に備えて何かしていたか」についてみると、「特になし」の割合が韓国で59.9%と最も高く、次いで、スウェーデン(53.1%)、ドイツ(38.1%)、日本(26.4%)、アメリカ(16.7%)となる。つまり、何らかの備えをしていた人が、アメリカでは約8割、日本では約7割、ドイツでは約6割、スウェーデンでは約5割、韓国では4割であることがわかる。

具体的にみると、各国とも「預貯金」(アメリカ66.4%、日本57.9%、ドイツ49.4%、韓国29.9%、スウェーデン28.5%)の割合が最も高くなっている。老後の経済生活について自立型の考えが強いアメリカでは、「個人年金への加入」(46.4%)、「債券・株式の保有、投資信託」(35.5%)など、その他の項目の割合も高い。

(表31)

(複数回答) (%)

	日 本					ア メ リ カ					韓 国				ド イ ツ			スウェーデン	
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第3回	第4回	第5回	第3回	第4回	第5回	第5回	
1 預貯金					57.9					66.4					29.9			49.4	28.5
2 個人年金への加入					27.6					46.4					8.9			7.3	18.1
3 債券・株式の保有、投資信託					6.2					35.5					0.6			10.0	14.8
4 不動産取得					7.9					20.0					11.7			10.1	5.2
5 貴金属の保有)					0.2					3.3					0.6			0.4	0.8
6 老後も働いて収入が得られるように職業能力を高める					14.7					12.3					4.0			5.2	1.5
7 その他					1.9					1.9					0.0			2.7	0.2
8 特に何もしていない					26.4					16.7					59.9			38.1	53.1

カ 老後の備えとしての現在の貯蓄や資産の充足度（Q25）

「現在の貯蓄や資産は老後の備えとして十分か」についてみると、「社会保障で基本的な生活は満たされているので、資産保有の必要性がない」はドイツで22.3%と高いが、その他の国では低い水準である（日本2.8%、アメリカ7.4%、韓国0.7%、スウェーデン0.9%）。

「十分である」は、アメリカで25.2%と最も高く、ドイツ（18.6%）、スウェーデン（17.4%）も2割弱であるが、日本（7.2%）と韓国（6.3%）のアジアの2か国では1割以下である。

一方、「やや足りないと思う」と「まったく足りないと思う」を合わせた割合をみると、韓国が67.4%で最も高く、次いで日本が49.1%で、アジアの2か国は欧米3か国（アメリカ29.7%、ドイツ25.1%、スウェーデン22.8%）よりも不足と思う割合が高くなっている。

（表32）

（%）

	日 本					ア メ リ カ					韓 国				ド イ ツ			スウェーデン	
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第3回	第4回	第5回	第3回	第4回	第5回	第5回	
1 資産保有の必要性がない					2.8					7.4					0.7			22.3	0.9
2 十分だと思う					7.2					25.2					6.3			18.6	17.4
3 まあ十分だと思う					30.7					32.6					19.8			29.4	48.9
4 やや足りないと思う					32.0					14.7					30.7			15.0	16.5
5 まったく足りないと思う					17.1					15.0					36.7			10.1	6.3
6 わからない					10.2					4.0					5.8			4.5	10.1